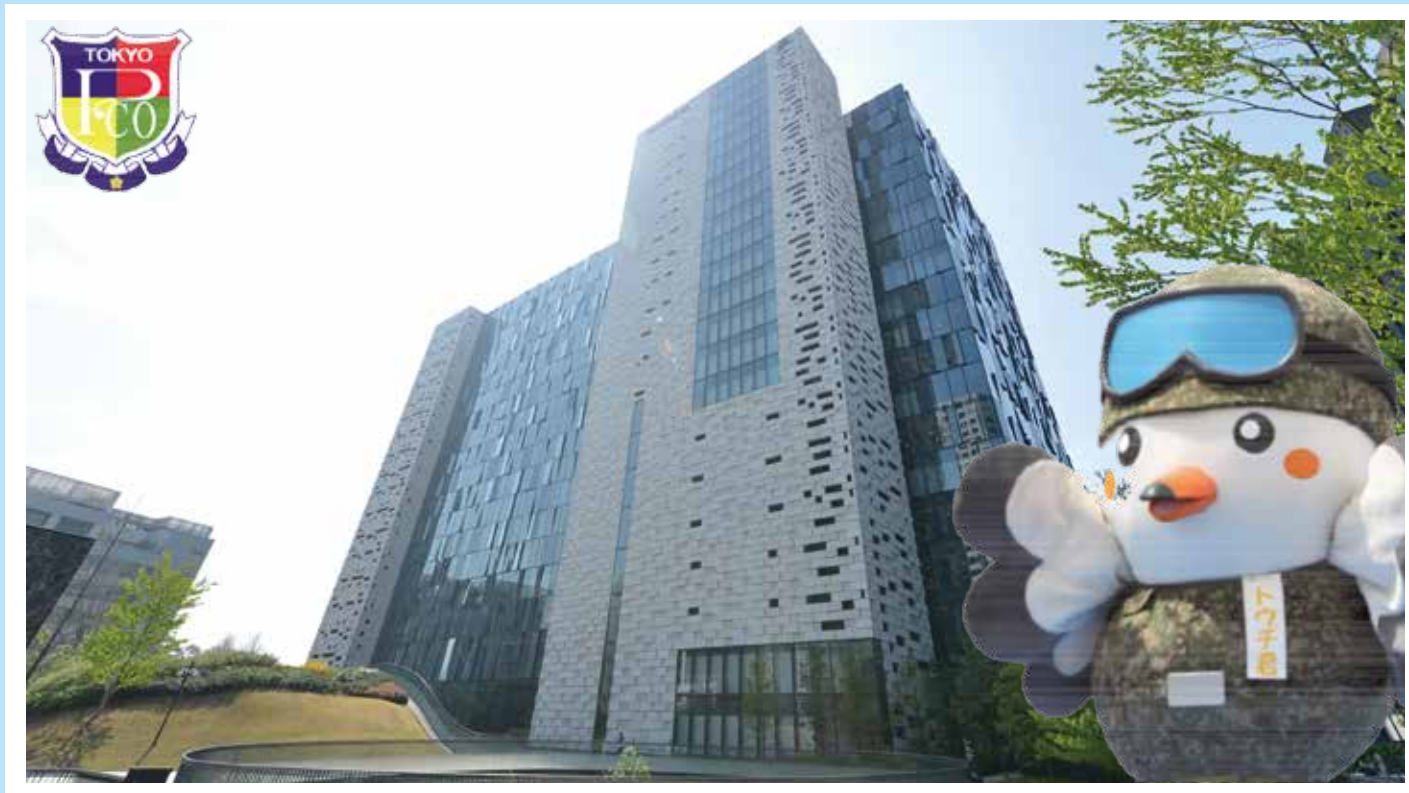


特集！自衛隊東京地方協力本部

～東京都新宿区～



自衛隊東京地方協力本部（写真提供：東京地方協力本部）

目次

CONTENTS

- 1 特集！自衛隊東京地方協力本部 ～東京都新宿区～
- 2 北関東防衛局の役割について
- 3 米空母艦載機着陸訓練（FCLP）を支援
／自衛隊、自治体のイベントで広報活動
- 4 第37回防衛問題セミナーの開催 ～千葉県柏市～
- 5 地方公共団体等に防衛白書を説明／防衛施設周辺地域の環境整備事業
- 6 在日米軍従業員永年勤続者表彰／防衛施設建設に係る優秀工事局長感謝状
／基地周辺地域との交流 ～米空軍横田基地～
- 7 我が街紹介 ～茨城県かすみがうら市～
- 8 お知らせとお願い

平成28年12月

北関東防衛局広報

North Kanto Defense Bureau Paper

北関東防衛局総務部広報室発行
さいたま市中央区新都心2-1
<http://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



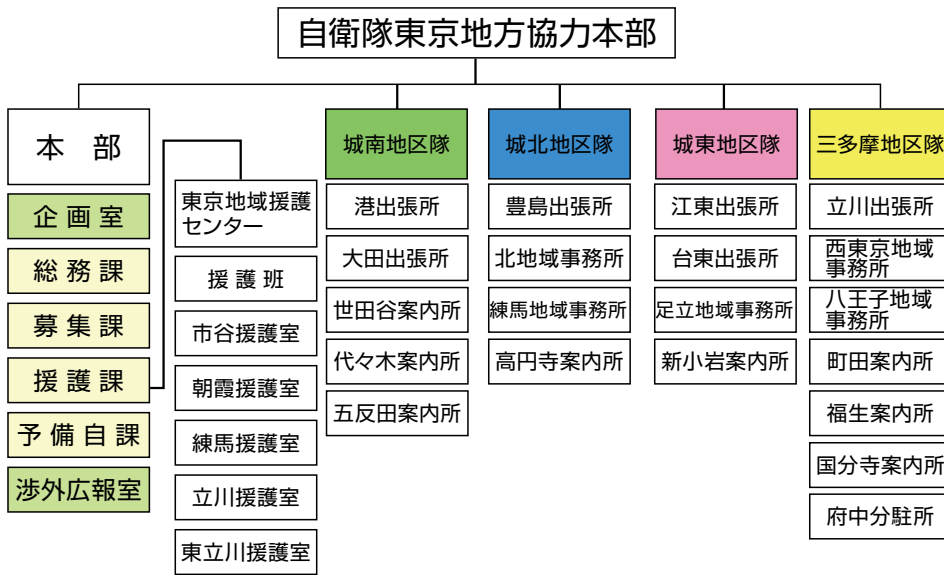
特集！自衛隊東京地方協力本部

はじめまして



ボク、ゆりかもめのトウチ君です。
 平成22年から自衛隊東京地方協力本部のことを東京のみんなに
 知ってもらおうお仕事をしているよ。今日は北関東防衛局広報の読者
 のみんなに東京地本のことを紹介するね。

編 成



東京地本は、本部機能として4課2室がある他に、地域に密着した募集出張所・案内所等を20、援護センター・援護室を6、都内各所に保有している約300名の組織です。



任 務



東京地方協力本部は自衛官等の募集、隊員の再就職援護、予備自衛官業務、広報等に関することの他に、部外との連絡及び協力を任務としているよ。

歴 史

昭和31年	東京地方連絡部編成完結
平成18年	東京地方協力本部に改称
平成22年	トウチ君誕生
平成26年	本部庁舎建替えのため、新宿イーストサイドスクエアに移転
平成28年	東京地本創立60周年
平成30年	新庁舎へ移転予定（市ヶ谷）

新庁舎完成予想図



東京地本は今年度、創立60周年をむかえるよ。



各種イベント



東京地本では、様々なイベントを実施しているよ。随時、HPとFacebookに最新情報を掲載しているから、是非「東京地本」と検索してみてね。



自衛官採用説明会



オフィスツアー



体験航海



体験搭乗

自衛官オフィスツアー

- (1) 日時：平成29年1月17日(火) 1300～1700
 場所：陸上自衛隊 立川駐屯地(東京都立川市)
 内容：隊長等による講話、若手自衛官との座談会等
- (2) 日時：平成29年2月8日(水) 1300～1700(予定)
 場所：陸上自衛隊 小平学校(東京都小平市)
 内容：「軍事英語」体験授業等、語学に関わること



応募方法は東京地本HPを確認してね。陸上自衛隊に興味のある大学生や大学院生にお勧めだよ！

お問い合わせ先

自衛隊東京地方協力本部

03-3260-0543

ホームページを是非ご覧下さい！

<http://www.mod.go.jp/pco/tokyo>

東京地本

検索

北関東防衛局の役割について

北関東防衛局は、関東信越地方の内1都7県を管轄し、自衛隊及び在日米軍と地方公共団体や地域住民を繋ぐ「架け橋」であると共に、防衛施設の建設や装備品の調達に係る監督検査等の業務を行っています。

前号までに、当局の自衛隊・米軍と地域住民等を繋ぐ架け橋としての役割及び防衛施設の建設工事について紹介しました。今号では、建設工事等により取得した国有財産の適正な管理のための施策や飛行場周辺地域の土地の利活用(公園的施設整備事業)のほか、在日米軍による事件・事故への対応について紹介します。



管轄区域図

国有財産の適正な管理のための施策

○国有財産管理業務における事務手続に係る説明会の開催

9月27日(火)、北関東防衛局において、管内の陸海空自衛隊、機関の管財担当者を対象とし、国有財産管理業務における各種事務手続について、一層の理解を深めるとともに、連携強化及び情報共有を密にし、業務を円滑に進めることを目的として説明会を開催しました。

本説明会は、昨年度の第1回目につき、第2回目の開催となりましたが、昨年同様80名を超える多数の参加があり、施設管理課各担当者から、防衛施設の使用許可等の事務手続について改めて説明するとともに、改善・注意が必要な手続について、具体的な事例を挙げて説明を行いました。北関東防衛局としては、今後も継続的に説明会を開催し、管内の各自衛隊等との情報共有を図ることにより、国有財産の適正な管理を行っていきたいと考えています。



飛行場周辺地域の土地の利活用(公園的施設整備事業)

公園的施設整備事業は、飛行場等周辺に所在する、いわゆる周辺財産(国有財産)の土地について、国側で広場等の基盤整備等を行い、地方公共団体等に対し使用を許可し、地方公共団体等が施設の利用目的に沿った形で機能付与工事を実施します。その結果、「周辺住民等から歓迎される、騒音と整合した土地利用を進め、当該地域の生活環境を整える」ことを目的として実施しています。

木更津市における公園的整備事業は、木更津市と調整を図りつつ、木更津飛行場周辺地区の周辺財産の一部、約8.4haの土地を利用し、野球、陸上競技、サッカー等ができる広場の基盤整備及び附帯施設として、トイレや駐車場等の整備をする事業であり、平成22年から各種の調査、設計業務を行い、平成27年度から当該土地の基盤整備に係る工事に着手し、平成30年度末までの工事完了を目指しています。



完成イメージ図

在日米軍による事件・事故への対応

○米軍人等による事故等に関する損害賠償

北関東防衛局では、「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第6条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」第18条に基づき、合衆国軍隊及び構成員(軍人・軍属)の不法行為による事件や事故で損害を受けられた方々への損害賠償業務を行っています。

合衆国軍隊及び構成員が起こした不法行為が、公務執行中の行為による場合と公務執行中でなかった場合とでは、請求手続きや補償方法が異なります。お問い合わせ先など、詳しくはこちらをご覧ください。(<http://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kichi-syuhon/songaibaisho.html> 当局HPにリンク)

米空母艦載機着陸訓練 (FCLP) を支援

騒音軽減のために ～東京都小笠原村～

在日米海軍は、8月23日から31日までの間、硫黄島（東京都小笠原村）において、本年度2回目の米空母艦載機着陸訓練を実施しました。

この訓練は、空母艦載機が空母に安全に着艦できるようにパイロットの練度を維持・向上させること、厚木海軍飛行場周辺の騒音を軽減させることを目的として、平成3年度から同島の滑走路で実施しています。

今回の訓練には、米海軍空母ロナルド・レーガンの艦載機C-2A、E-2C、F/A-18E・F及びE/A-18Gが参加し、予定していた訓練の全てを同島で実施しました。

北関東防衛局では、この訓練が安全かつ円滑に実施されるよう、米海軍をはじめ海上自衛隊、航空自衛隊との連絡調整とともに、給食、施設の維持管理等の調達業務を行うために、平均約20名の職員を派遣して、昼夜にわたり支援業務を行いました。

北関東防衛局としては、今後も、この訓練が安全かつ円滑に行われ、また、厚木海軍飛行場周辺の騒音軽減のため、同島における訓練を支援してまいります。



タッチ&ゴーを行う艦載機



駐機する艦載機



連絡調整会議

自衛隊、自治体のイベントで広報活動

平成28年度立川防災航空祭 ～東京都立川市～

10月1日(土)、陸上自衛隊立川駐屯地において「立川防災航空祭」が開催され、約8千人(主催者発表)が来場しました。この催しは、立川駐屯地の記念行事として駐屯地を一般開放し、駐屯地の役割への理解や信頼を深めることを目的として、陸・海・空自衛隊及び立川防災基地に所在する各機関(消防、警察、海上保安庁等)のヘリコプター展示や災害救助展示などを行うものです。当日は高機動車の試乗など様々なイベントが行われ、来場者を楽しませていました。北関東防衛局は、展示ブースを設置し、平成28年版防衛白書(パンフレット版)等を配布して、防衛省・自衛隊の活動をPRしました。

航空機の地上展示
(陸上自衛隊 UH-60)

小学生に紙飛行機の作り方を教える北関東防衛局の職員

うまかっぺフェスタ'16 ～茨城県鉾田市～

10月10日(月)、鹿島灘海浜公園において、茨城県鉾田市の主催により、同市の農畜産物、特産品、製造・加工技術など、あらゆるものを一堂に集め、展示・実演・販売等を行うことで鉾田市の魅力を紹介する「鉾田うまかっぺフェスタ」が開催されました。当初2日間の開催予定が9日は荒天のため中止となり、10日だけの開催となりましたが、約2万3千人(主催者発表)が来場し大盛況となりました。北関東防衛局は、百里飛行場の関連市町村である鉾田市からの依頼を受けて後援するとともに展示ブースを設置し、地域住民等に対する広報活動を行いました。平成21年度の出展以来、8回目の参加となった今回は、毎年人気の防衛白書クイズを実施し、たくさんの来場者に参加していただきました。クイズの参加者は、展示された防衛白書のパネルの内容について担当者に質問したりして、防衛省・自衛隊への関心を深めながら楽しんでいました。



鬼沢保平鉾田市長の挨拶



北関東防衛局の広報ブース

第37回防衛問題セミナーの開催 ～千葉県柏市～

大規模災害への備え ～地域の防災対策と自衛隊の活動～



平井北関東防衛局長

11月10日(木)、アミュゼ柏クリスタルホール(千葉県柏市)において、北関東防衛局の主催による「第37回防衛問題セミナー」が開催されました。今回のセミナーは、「大規模災害への備え ～地域の防災対策と自衛隊の活動～」をテーマに、2名の講師を迎えて講演が行われました。



会場の様子

開催に当たっては、千葉県柏市が共催、千葉県、陸上自衛隊第1空挺団及び自衛隊千葉地方協力本部が後援し、当日は約250名が来場しました。講演に先立ち、平井北関東防衛局長は「今日のセミナーを通じて、災害発生時の対応や、地方自治体と自衛隊との連携といった面について理解を深めていただきたいと思います」と挨拶しました。



山村 武彦氏

第1部では、防災システム研究所所長であり、防災・危機管理アドバイザーの山村武彦氏が「最近の災害に学ぶ、命と地域を守る準備と行動」と題して、熊本地震、東日本大震災及び阪神・淡路大震災のほか、講師自らが長年行ってきた世界中の災害現地調査から得られた教訓を基に、「まずは、いつかは自分の住む地域でも大地震が起きると思うけど今夜は起こらない、という考えを捨てて、色んな状況別に自分の命を守ること、火を出さないこと、閉じ込められないこと等を目的とした災害予防訓練を行うことが重要」「普段からほどよい距離感で隣人に関心を持ち、家庭、地域、職場の向こう三軒両隣で助け合う心を持つこと」など、大規模災害に対する意識啓発を促す講演を行いました。

続いて第2部では、陸上自衛隊第1空挺団の副団長濱本博文1等陸佐が「大規模災害への自衛隊の取組」と題して、普段メディアでは報じられない災害派遣に関する自衛隊の初動対処態勢や千葉県における地域ごとの担任部隊及び災害対処態勢、災害派遣現場における被災住民との連携、様々な支援活動の状況などをグラフや写真を用いて紹介しました。

来場者からは、山村氏の講演に対し「自らが災害を最小限にする日頃の心がけが大切だと思った」「近所で助け合うことが防災の基本であるということが理解できた」、濱本1佐の講演に対し「災害が起きたときに自衛隊が短時間で対応できる態勢を整えていることに感心した」「自衛隊が災害派遣において被災者を気遣い、私たちが知らない様々な支援活動を行っていることにとっても驚いた」などの感想が寄せられました。



濱本 博文1等陸佐

出向職員消防訓練で活躍

～東京都瑞穂町～

9月16日(金)、瑞穂町営第2グラウンドで福生消防署などの主催による自衛消防訓練審査会が開催され、北関東防衛局から瑞穂町役場に出向中の竹内永子さんが、同役場から参加した女子隊の指揮者として出場しました。結果は惜しくも3位に終わりましたが、竹内さんのテキパキとした指揮の下、手際よく負傷者の応急手当や消火栓から放水を行う様子に、会場から惜しみない拍手が送られていました。



隊員に指揮をする竹内さん(右)

地方公共団体等に防衛白書を説明

管内 4 1 4 地方公共団体等に



平成 2 8 年版防衛白書が本年 8 月 2 日の閣議において了承され、刊行されました。防衛白書は、わが国防衛の現状と課題およびその取組について広く内外への周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行しており、平成 2 8 年版は刊行 4 2 回目になります。平成 2 8 年版防衛白書は、昨年版と同様、3 部で構成され、第 I 部は「わが国を取り巻く安全保障環境」について、第 II 部は「わが国の安全保障・防衛政策と日米同盟」について、第 III 部は「国民の生命・財産と領土・領海・領空を守り抜くための取組」について、それぞれ記述しています。

平成 2 8 年版防衛白書は、直近一年間のわが国の防衛に係る主要な出来事のうち、国民の関心や安全保障上の重要性といった観点から選んだ 6 項目について、写真と解説を交えてわかりやすくまとめた記事を巻頭特集「日本の防衛この一年」として、また、防衛省・自衛隊をより身近に感じてもらえるよう、防衛省・自衛隊の広報施設やイベント情報、制服、装備品等の基礎的知識などを新たに掲載しています。

北関東防衛局は例年、管轄する茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟、長野の各地方協力本部と連携し、管内の 4 1 4 の地方公共団体等に防衛白書の説明を行っています。この白書説明は、わが国の防衛政策や防衛省・自衛隊の各種施策について、より多くの国民の皆様に理解を深めていただくとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図ることを目的としています。

防衛白書は官報販売所や一般の書店で購入できるほか、防衛省のウェブサイトでも閲覧できますので、是非とも御覧ください。

http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2016/w2016_00.html



福田栃木県知事（左）に白書の内容を説明する平井北関東防衛局長

防衛施設周辺地域の環境整備事業

防衛施設は、わが国の安全保障に欠くことのできないものです。しかしながら、航空機の騒音や演習場での訓練等で周辺地域に影響を及ぼす場合があります。そのため防衛施設と周辺地域との調和を図るため、防音工事の助成、住宅移転などへの補償、障害防止工事への助成、民生安定施設の整備への助成などの施策を行っています。

恵ため池 ～新潟県妙高市～

本事業は、関山演習場での実弾射撃訓練等に伴い演習場が裸地化・荒廃したことにより演習場の保水力が低下し、当該演習場を流域にする片貝川水系花房用水路及び北沢川の下流にある農耕地に用水不足が生じていることから、その障害を防止又は軽減するため農業用のため池を建設したものです。

恵ため池は、平成 1 7 年度から用地買収に着手、平成 1 8 年度から工事が行われ、平成 2 7 年 3 月に完成しました。総事業費は約 2 5 億円（補助率：1 0 / 1 0）。総貯水量は 1 7 1 千 m³、堤高は 1 0 . 6 m、堤頂長は 6 4 8 m、灌漑面積は 1 8 4 h a であり、表面遮水壁型均一タイプフィルダムです。

主な施設は、ため池本体、取水施設、配水施設、放流水路です。ため池の維持管理は、妙高市が行っており、用水の維持管理は、恵ため池維持管理連絡会（地元の用水組合）が行っています。

ため池を設置してから 1 年以上経過していますが、用水組合からは、ため池を造ってもらい、用水不足が解消されて、事業効果があったとの声もあり、今後も関山演習場周辺に生じる障害を防止、軽減するよう努めてまいります。



平成28年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式

316名を表彰

10月13日(木)、東京都羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」において、平成28年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。この表彰については、在日米軍施設において勤務する従業員の10年、20年、30年、40年の永年にわたる功労を称えるものです。

式典では、最初に、平井北関東防衛局長とウインクラー第5空軍副司令官等から祝辞が述べられ、次に、永年勤続者316名の代表者に平井局長等から表彰状の授与と記念品の贈呈が行われました。最後に従業員を代表して、第374装備即応中隊所属の田村まゆみさんが答辞を述べました。



平成28年度 防衛施設建設に係る優秀工事局長感謝状

株式会社吉田組東京支店に贈呈

11月2日(水)、木更津飛行場周辺地区運動施設の造成工事において、造成地の伐採樹木をチップ化し再利用したことによる処分費の大幅なコスト縮減を図ったほか、沿岸部の軟弱地盤に適応した重機の採用により工事の着実な進捗に努め、期限内に工事を完成させた功績をたたえ、平井北関東防衛局長から株式会社吉田組東京支店に感謝状が贈呈されました。



前列左から
平井北関東防衛局長、(株)吉田組東京支店長、佐藤局次長

【対象工事】 木更津(27)運動施設新設造成工事

基地周辺地域との交流 ～米空軍横田基地～

日米友好祭

9月17日(土)と18日(日)の2日間、横田基地において「日米友好祭」が開催されました。このイベントは、基地が一般に開放される恒例のイベントで、1970年代からは、日米友好祭として開催されており、例年多くの人で賑わいます。今年は、初日は天気にも恵まれましたが、2日目は時折強い雨に見舞われるあいにくの天気の中、2日間で13万5千人を超える(主催者発表)来場者がありました。

基地内では、米軍や自衛隊の航空機の展示が行われ、展示された航空機を熱心に見学する人、航空機をバックに記念撮影する人、また、機内観覧の列には、家族連れの様も多く見受けられました。

このほか、落下傘降下や軍用犬デモンストレーション、警視庁白バイ隊によるドリル走行、更に、屋内外のステージではバンド演奏やキッズによるダンスパフォーマンスなど、様々な催しが行われました。また、ステーキやハンバーガー、ゲームや基地限定の土産グッズ販売などが出店し、来場者はアメリカンテイストを楽しんでいました。



Yokota air base HP から掲載

Yokota air base HP から掲載

我が街紹介

～茨城県かすみがうら市～

きらきら いきいき ふれあい育む豊かなめぐみ野



「かすみがうらエンデューロ」でレースを楽しむサイクリストたち

例年 4 月には霞ヶ浦湖畔を 2 万人以上のランナーが駆け抜ける「かすみがうらマラソン」が開催されており、今年で 26 回を数えるこの大会には全国から多くのランナーに参加いただいたほか、10 月には、霞ヶ浦を望む風光明媚な地域である「歩崎地区」において、公道を使った自転車耐久レース「かすみがうらエンデューロ」も開催しており、スポーツが盛んなまちでもあります。

この恵まれた土地で生産される生鮮品や加工品のほか、観光資源なども含め地域の魅力ある資源を象徴する統一ブランド「湖山の宝」を立ち上げ、本市の魅力を地域内外に発信しています。

また、市のほぼ中心に位置する J R 神立駅についても、駅舎の橋上化をはじめ周辺の区画整理、さらには神立駅から国道 6 号を結ぶ「神立停車場線」の整備を進めており、利便性の向上が期待されています。

本市ではこの地域特性を活かしながら、豊かな自然環境の保全と快適な都市空間の構築などバランスの良い発展を目指してまちづくりを進めています



J R 神立駅の完成イメージ

文・写真ともかすみがうら市に寄稿していただきました。

かすみがうら市は、わが国第 2 位の面積を誇る「霞ヶ浦」と関東の名峰筑波山系の南麓にはさまれ、首都東京へ約 70 km の距離に位置しています。幹線交通網として J R 常磐線、千代田石岡インターチェンジが置かれている常磐自動車道、国道 6 号、国道 354 号を有するなど、立地条件に恵まれた田園都市です。

台地には、梨や栗などの畑や平地林、低地には水稲やレンコンなどの水田が広がり、霞ヶ浦沿岸ではワカサギやシラウオなどの内水面漁業が盛んです。さらに J R 常磐線神立駅周辺や幹線道路沿いには商業・業務系や住居系の市街地が形成され、大変暮らしやすいまちです。



「湖山の宝」推奨証のロゴマーク

周辺対策事業

本市の北東には、首都圏の防空の要である百里基地があり、民生安定等の防衛補助を活用し保育所や小学校の防音工事を実施したほか、救急・消防車両の導入を行うなど、住民が安心して暮らせるまちづくりに大いに役立っています。



市民の「安全・安心」を守る救急車

航空機へのレーザー照射は犯罪です

お知らせとお願い



【北関東防衛局 HP にバナーを掲載】

- 自衛隊機・米軍機等に対するレーザー照射による妨害事案が多発しています。
- このような行為は、墜落等による大惨事を招きかねない大変危険で悪質な行為です（注）。
- このような行為を行っている人を見かけた方は、110番通報をお願いいたします。

（注）刑法の威力業務妨害罪に該当する場合は3年以下の懲役又は50万円以下の罰金。

航空危険行為処罰法の航空危険罪に該当する場合は、3年以上の有期懲役。

【参考：航空法施行規則等の一部改正について】

国土交通省は、航空機に向かってレーザー光を照射する等の行為を規制するため、航空法施行規則及び日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う航空法の特例に関する法律施行令を一部改正（平成28年12月21日施行）。

お問い合わせ先：北関東防衛局企画部地方調整課（代表）048-600-1800（内線：2234）

日米交流音楽会開催のお知らせ ～東京都瑞穂町～

北関東防衛局は、米軍横田基地周辺住民の方々と同基地に勤務する軍人・軍属及びその家族の方々が、音楽という世界共通のテーマによる交流を通じて、相互理解の深化及び良好な日米関係の醸成を図ることを目的として、平成21年から「日米交流音楽会」を毎年開催しています。今年も、瑞穂町との共催により瑞穂ビューパーク・スカイホールで開催し、魅力あふれる日米の参加団体に鮮やかな演奏などを披露していただく予定です。さらに、参加者全員による演奏など盛りだくさんのプログラムとなっています。多数の方のご来場をお待ちしています。

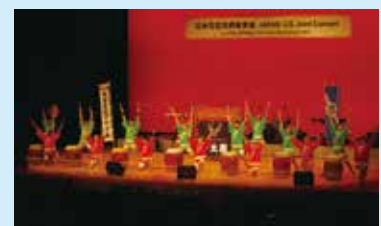
開催日時：平成29年2月18日（土）13時～15時30分（開場 12時30分）

場 所：瑞穂ビューパーク・スカイホール（東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2475番地）

入場方法：定員800名（入場無料）

参加団体：米国空軍太平洋音楽隊－アジア（パシフィック・ショーケース）、横田サムライ太鼓、横田七夕ダンス、瑞穂青少年吹奏楽団、チアダンスクラブ Luck、瑞穂町文化連盟舞踏部

主 催：北関東防衛局、共催：瑞穂町、後援：瑞穂・横田交流協会、協賛：在日米軍横田基地



（平成27年度日米交流音楽会より）

お問い合わせ先：北関東防衛局企画部地方協力基盤整備課（ダイヤルイン）048-600-1844

★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html

北関東防衛局広報

検索